

総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 大下 孝正

- 日 時：令和4年9月27日（火） 13:00～13:45
- 場 所：第4学年1組 教室
- 学 年：第4学年1組（男子11名 女子22名 計33名）
- 「たんけん・発見！わが町焼山！Ⅰ」

単元の目標

昭和地区の防災や伝統文化継承の取組について調べたり、体験したりする活動を通して、それぞれの取組に携わる人々の工夫や努力、思いを理解するとともに、自らの生活や行動に生かすことができる。

児童生徒の実態

- (1) 地域の防災の取組や郷土料理「八寸」について言葉を知っている児童は多いが、具体的な取組については詳しく知っている児童は少ない。
- (2) タブレット端末を活用し、意欲的に情報を収集する活動に取り組む児童は多い。しかし、情報を整理したり、関係付けたりする力はまだ十分ではない。
- (3) グループでの協働学習に取り組んできたが、他者の意見を共感的に受け止めたり、話し合いの中で意見に折り合いをつけたりすることに課題がある。

目指す具体の姿＜育成を目指す資質・能力＞

- (1) 知識・技能
 - ①防災の取組や郷土料理とはどんなものか理解している。
 - ②防災や郷土料理の継承に携わる人々の思いについて理解している。
- (2) 思考力・判断力・表現力
 - ①自ら課題を発見し、課題解決に向けて学習計画を立て、収集した情報を比較・分類したり、関係付けたりしながら分析している。
 - ②発信したい内容を分かりやすく伝えるための方法を考え、理由を明確にし、筋道を立てて表現している。
- (3) 主体性・協働する力
 - ①課題を解決するために身近な対象に進んで働きかけ、互いの考えを認め合いながら、ねばり強く取り組むことができる。

本質的な問い

わたしたちは、地域とどう関わり、この地域でどのように生きるか。

単元を貫く問い

地域のよさを伝えるためにわたしたちに何ができるか。

【探究課題 地域の安全や郷土料理に携わる人々】

(単元導入のためのしかけ)

焼山の特色を考える活動を通して、焼山のよさや課題に気付き、自分たちの地域をより良くしていくために、どのようなことに取り組んでいけばいいのかを考える。

【第3次】(11時間)

課題 地域のよさをどのように発信したらよいのだろうか。

個別の問い

- ・地域の人々はどのような思いで活動しているのか。
- ・地域のよさをどうやって伝えたいのだろうか。
- ・伝統を受け継いでいくために自分たちにできることはあるのか。
- ・自分の思いをどのように発信していけばいいか。

家族、地域の方

教科等において関連する資質・能力
(単元名)

国語科2A(1)エ
(調べたことを報告しよう)
国語科2B(1)エオ(2)イ
(「言葉のタイムカプセル」を残そう)

【第2次】(19時間)

課題 地域の伝統文化を守るために自分たちは何ができるのか。

個別の問い

- ・受け継がれてきた伝統には何があるのか。
- ・郷土料理には、どのようなものがあるのか。
- ・八寸が受け継がれてきたのはなぜだろうか。
- ・どんな方法で八寸について伝えたいのだろうか。

栄養教諭

女性会

教科等において関連する資質・能力
(単元名)

国語科2B(1)ア
(みんなで新聞を作ろう)
社会科2(5)
(特色ある地いきと人々のくらし)
道徳科 C16
(ふるさとを守った大イチョウ)

【第1次】(20時間)

課題 地域のよさや課題は何があるのだろうか。

個別の問い

- ・焼山のよいところや課題にはどのようなものがあるか。
- ・焼山をよりよくするためにはどうしたらいいか。
- ・地域の安全を守る取組にはどのようなものがあるか。
- ・災害への備えや災害が起きたときにはどう行動すればよいか。

防災士

教科等において関連する資質・能力
(単元名)

国語科2B(1)ア
(グループにまとめて整理しよう)
社会科2(3)イ
自然災害からくらしを守る
理科 B(3)イ
地面を流れる水のゆくえ